

◆ スポーツ・フォー・エブリワン推進の中核イベントとして

- 運動・スポーツの楽しさや意義を広めたい
- 定期的・日常的に運動・スポーツをする人を増やしたい



- 住民の運動・スポーツの習慣づくりのきっかけに、
チャレンジデーを活用してほしい
- まちをあげてのスポーツイベントを地域コミュニティづくり・
まちづくりと住民の健康づくりに活用してほしい

◆ 全国一斉開催のコーディネーターとしての主な取り組み

- 1) 参加自治体獲得に向けた広報・営業
- 2) 対戦自治体のマッチング（国際対戦含む）
- 3) 対戦自治体の交流支援：エール交換など
- 4) 広報グッズの作成・提供：Tシャツ、ポスターなど
- 5) 全国共通イベントの募集・取りまとめ
- 6) 当日の参加率のとりまとめ・集計・発表
- 7) 実施状況の現地調査
- 8) ワークショップ・セミナー（事後・事前）の開催
- 9) 年次レポートの作成
- 10) 助成金による事業費の支援

組織をあげての
取り組み

◆ スポーツ推進の現場の知見とネットワーク

- スポーツ推進に意欲的な自治体の職員や首長との信頼関係
- 地域により異なる自治体のスポーツ推進の多様な姿
- チャレンジデー関係者が工夫をこらしたユニークなプログラム
- スポーツイベントを幅広く活用する視点



シンクタンクとして活動するためのベース

全国平均のデータを各地の「現場」と照合できる強み

◆ 周知から事前準備、当日運営に至る多大なる尽力

- 関係者・住民にイベントの意義と内容を理解してもらう
- 自治体対戦に勝つために、さまざまな団体に協力を呼び掛ける
⇒参加率を高める仕掛け：本来・勝ち負けは二の次だが...
- 多くの人に参加してもらうためのプログラムを企画する
- 参加者を取りこぼさないための集計体制をつくる
- 運営に関わる人材を確保する（スポーツ推進委員ほか）



全国イベントとしてのチャレンジデー